

令和3年度看護リカレント教育センター公開講座 第1回「とくしま発・在宅ケア学」を開催しました。

大学院医歯薬学研究部看護リカレント教育センターでは、令和3年4月、全国初となる在宅ケア分野の認定看護師教育課程を開講しました。授業科目のひとつである「とくしま発・在宅ケア学」は、どなたでも無料で参加できる公開講座です。

記念すべき第1回目は6月26日（土）に、「地域包括ケア時代の在宅ケア～全国に誇れる徳島モデルになるには～」をテーマに開催しました。講師は、公益財団法人日本訪問看護財団立あすか山訪問看護ステーション 統括所長で、在宅看護専門看護師・訪問看護認定看護師の平原 優美先生です。

オンラインによる講座でもあったことから、北海道から九州まで全国各地から155名の参加がありました。「在宅ケアにかかわる最新の動向」とともに、「地域包括ケアシステムにおける看護職の役割・機能」についてご講義いただきました。

在宅ケアにおける課題は多様な職種で解決していくこと、地域住民を巻き込んで活動することが重要であり、そのためには地域にあるフォーマル・インフォーマルサポートをしっかりと把握しておくことが大切であることをご説明いただきました。

参加者からは「先駆的な取り組みから学んだエッセンスを参考に、自分が活動する地域特性に合わせ、徳島モデルを創っていきたい」という感想が聞かれました。

第1回公開講座の様子

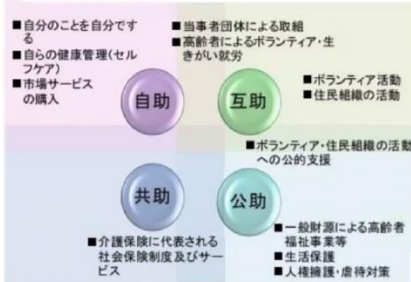
訪問看護師は
受け持ち利用者・家族への看護に一生懸命



Illustration showing a home nurse providing care to various users and families. The scene includes a nurse attending to an elderly patient in bed, a family with a child, and a nurse consulting with a family member.

川 平原優美

一人の訪問看護師ができる
地域包括ケアシステム構築



■自分のことを自分でする
■自らの健康管理(セルフケア)
■市場サービスの購入

■当事者団体による取組
■高齢者によるボランティア・生きがい就労

■ボランティア活動
■住民組織の活動

■ボランティア・住民組織の活動への公的支援


■介護保険に代表される社会保障制度及びサービス

■一般財源による高齢者福祉事業等
■生活保護
■人権擁護・虐待対策

- 多職種連携研修（北区ケアネット主催）に参加（年に1～2回）
- 顔の見える連携会議
年に2回 多職種でGW
ex)もしバナゲームでACP
災害時の備え～あなたならどうする？～
- 北区のパフレットなどを活用

北区在宅療養あんしんハンドブック
卒業生用(A4) 一般区民用(A5) 医療社会資源情報検索システム

(出典) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「地域包括ケア研究会」地域構築における今後の検討のための



北区内在宅療養あんしんハンドブック
卒業生用(A4) 一般区民用(A5) 医療社会資源情報検索システム



(講師：平原優美先生)

第1回公開講座の様子



当日はZoomによるオンラインで開催し、「在宅ケア認定看護師教育課程」の研修生が学ぶ講義室もつなぎ、全国に配信しました。

令和3年度看護リカレント教育センター公開講座 第2回「とくしま発・在宅ケア学」を開催しました。

大学院医歯薬学研究部看護リカレント教育センターでは、令和3年4月、全国初となる在宅ケア分野の認定看護師教育課程を開講しました。授業科目のひとつである「とくしま発・在宅ケア学」は、どなたでも無料で参加できる公開講座です。

第2回目は7月17日（土）に、「在宅療養の場における感染症対策～新型コロナウイルス感染症を含めた暮らしを支える感染管理」をテーマにオンラインで開催しました。講師は沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科 副部長/厚生労働省医政局地域医療計画 技術参与の高山義浩先生です。

当日は在宅ケアにかかわりのある専門職や学生等、全国から70名の参加があり、在宅療養の場でよくみられる感染症と具体策について理解を深めました。暮らしの場における感染症対策は専門家によって一方的に指導されるものではなく、共通の価値観として共有されてゆくべきものであることや、多様性を失わせるような感染症対策には慎重になることの重要性を示唆いただきました。

また、日々、コロナウィルス感染症に奔走する専門職にとって、感染症対策の基本を守りつつ、個に寄り添う支援のあり方について、考察する機会にもなりました。

第2回公開講座の様子

誤嚥性肺炎の予防 5つのポイント

(1) 食事内容、食事姿勢を調整する

- 誤嚥しにくい食事内容へと調整し、食事姿勢についても工夫する。

(2) 口腔ケアにより菌量を減らす

- 口腔内の細菌や残渣を減らすことが、誤嚥性肺炎予防では最も重要。

(3) 半夏厚朴湯または六君子湯を試す

- 咳反射の低下には半夏厚朴湯、蠕動運動の低下には六君子湯が良い。

(4) 経管栄養の食道への逆流を防ぐ

- 食紅テストで逆流をチェックし、栄養剤を投与前に内容物を確認する。

(5) 肺炎球菌ワクチンを接種する

- 65歳以上の高齢者に対して、日本では定期接種として推奨されている。



(講師：高山義浩先生)

令和3年度看護リカレント教育センター公開講座 第3回「とくしま発・在宅ケア学」を開催しました。

大学院医歯薬学研究部看護リカレント教育センターでは、令和3年4月、全国初となる在宅ケア分野の認定看護師教育課程を開講しました。授業科目のひとつである「とくしま発・在宅ケア学」は、どなたでも無料で参加できる公開講座です。

第3回目は7月31日（土）に、「徳島県の在宅医療・ケアの現状と専門職への期待」をテーマに開催しました。講師は以下の3名の方をお迎えし、それぞれのお立場からご講義いただきました。

- 豊田健二先生（医療法人豊山会豊田内科 院長/徳島市医師会常任理事 在宅医療・介護連携事業 事業長）
- 邊見知恵子先生（公益社団法人徳島県看護協会地域ケア部門 統括/訪問看護認定看護師）
- 谷 憲治先生（徳島大学病院 総合診療部 部長・教授）

当日は、徳島県の看護職を中心に全国から70名の参加がありました。徳島市および徳島県の在宅医療の現状と地域包括ケアシステムについて学ぶとともに、その現状をふまえたこれからの看護職のあり方、徳島大学でなされている医療人材育成等について理解を深めました。

徳島県は高齢化・過疎化に伴い、全国に先駆けて在宅医療・ケアに対する課題が生じています。この課題はいずれ都市部でも起こることが予想されています。徳島県が「課題解決先進県」として全国に誇れるモデルとなるよう、参加者それぞれの立場で「実践できることは何か」を考察する機会となりました。

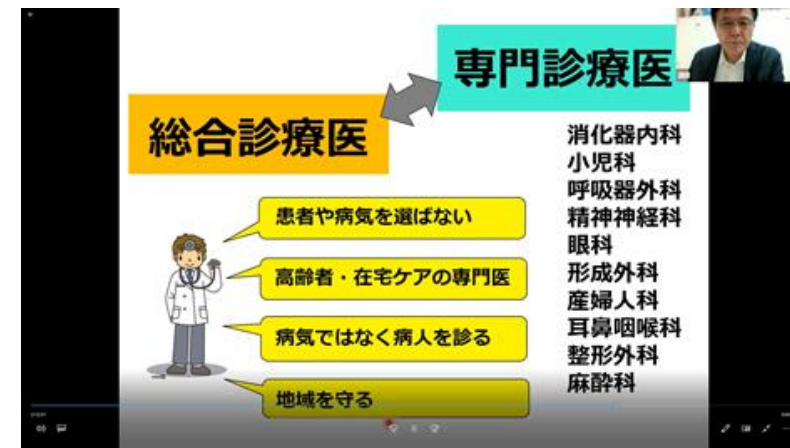
第3回公開講座の様子



(講師：豊田健二先生)



(講師：邊見知恵子先生)



(講師：谷 憲二先生)